

JOCS 祈りの花束

2022年1月

今月のことば: ひっきりなしに夜の間も歌い続けるように。(アウグスティヌス 四世紀)

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1 新しい年、JOCSの働きがますます祝福され、み旨に沿うものとなりま すように
2 JOCSワーカーの派遣先団体と協働プロジェクトのパートナーに、今年、神さまの導きが豊かにありますように	3 畑野会長、大友常務理事、森田事務局長のため	4 新型コロナウイルスによって困難な状況におかれている方々、そして対応に関わるすべての保健医療従事者のため	5 事務局スタッフのため(本日仕事始め)	6 冬期募金のため	7 JOCS の会員のため(特に岡山県の会員のため。現在 54 名)	8 奨学金委員会のため(本日委員会を開催)
9 会員・支援者の増強のため	10 若い会員のため。青年会員の増強のため(本日、成人の日)	11 新しいワーカーが与えられるように	12 雨宮春子ワーカーのため(タンザニア)	13 新型コロナウイルスに対する公正な医療アクセスのため	14 JOCS に協力するボランティアの方々のため(自宅待機中)	15 岩本直美ワーカーのため(帰国・休息と報告会にむけての準備のため)
16 JOCS の財務のため(明日、会計監査)	17 被災者とその方々の支援に長年従事する方々のため(本日、阪神淡路大震災記念日)	18 JOCS が教会一致のために貢献できるように(18日~25日:キリスト教一致祈禱週間*1)	19 感染症に関する緊急医療活動支援先のため(インドネシア・タイ・ネパール・タンザニア・バングラデシュ・ケニア)	20 JOCS の奨学生のため(特にケニアの奨学生のため。現在 1 名)	21 会報誌「みんなで生きる」のため	22 理事会のため(本日、定例理事会を開催)
23 使用済み切手収集活動のため(本日、JOCS切手の日)	24 遺贈による寄付の普及のため	25 ワーカーの安全のため。タンザニアの治安のため	26 ラルシュ・マイメンシン(バングラデシュ)のため、岩本直美ワーカーの後任のリーダーのため	27 「古本募金」「つながる募金」の普及のため	28 シロアムプロジェクト(協働プロジェクト)のため(ケニア)	29 ハンセン病を患う人々のため。予防、治療、啓発に関わる人々のため(本日、世界ハンセン病の日*2)
30 地区 JOCS の働きのため	31 ママ・ナ・ムトプロジェクト(協働プロジェクト)のため(タンザニア)	*1: Week of Prayer for Christian Unity: 世界規模のイベントで、今年のテーマは「わたしたちは東方でそのかたの星を見たので、拝みに来たのです」(マタイ 2:2)。今年の祈りの式文は、レバノンのバイルートを拠点とする中東教会協議会が準備した。日本でもそれに基づいて祈りの集會が開催される。 *2: World Leprosy Day				

祈りの項目 岩本直美ワーカーより:ラルシュのコアメンバーたちが、コロナワクチンの初回接種を受けることができますように。



みことばの黙想

2022年1月

これらの短いみことばは、フランスにある超教派男子修道共同体テゼの昼の祈りから取られたものです。

より深くみことばを味わいたい方は、典拠箇所を参照して文脈のなかでみことばを黙想なさってください。

聖書本文は、原則として『聖書 新共同訳』日本聖書協会発行をもとにしています。

1日（土） 使徒言行録 20:17-38
パウロは言った。「主イエス御自身が言われた言葉を思い出すように。『受けるよりは与える方が幸いである。』」

2日（日） マタイ 2:1-12
学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝んだ。

3日（月） ローマ 15:7-13
希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださるよう。

4日（火） ミカ 4:1-3
多くの民が来て言う。「主の山に登ろう。主はわたしたちに道を示される。」彼らは剣（つるぎ）を打ち直して鋤（すき）とし、槍（やり）を打ち直して鎌とする。

5日（水） ヘブライ 13:1-8
兄弟としていつも愛し合いなさい。旅人をもてなすことを忘れてはなりません。そうすることで、ある人たちは、気づかずに天使たちをもてなしました。

6日（木） エフェソ 3:2-6
†主の公現
パウロは記す。「キリストの秘義は、今や霊によって啓示されました。すなわち全ての民が福音によってキリスト・イエスにおいて、約束されたものをわたしたちと一緒に受け継ぐ者、同じ体に属する者、同じ約束にあずかる者になるということです。」

7日（金） ガラテヤ 1:11-24
パウロは記す。「神は、わたしを母の胎内にあらるときから、恵みによって召し出してください。そして、御子をわたしに示されました。」

8日（土） サムエル記下 22:21-31
主よ、あなたはわたしのともし火、主はわたしの闇を照らしてください。あなたによって、わたしは城壁を越える。

9日（日） ルカ 3:15-22
聖霊が鳩のように目に見える姿でイエスの上に降（くだ）って来た。すると、天から声が聞こえた。「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。」

10日（月） サムエル記上 3:1-18
エリは少年サムエルに言った。「もしまた呼びかけられたら、こう言いなさい。『主よ、お話しください。僕（しもべ）は聞いております。』」

11日（火） 申命記 30:1-14
モーセは人々に言った。「心を尽くし、魂を尽くして、あなたの神、主のもとに立ち帰るならば、主はあなたを憐れんでくださる。」

12日（水） エフェソ 3:1-12
パウロは記す。「神は、わたしに恵みを賜り、この福音に仕える者としてくださいました。この恵みはすべての聖なる者のうちで最も小さい者である私に与えられました。キリストの計り知れない富についてすべての人に告げ知らせるためです。」

13日（木） ヨハネ 12:37-50
イエスは言われた。「わたしを見る者は、わたしを遣わされた方を見るのである。」

14日（金） イザヤ 25:1-5
主よ、まことにあなたは弱い者の砦（とりで）、苦難に遭う貧しい者の砦。

15日（土） ナホム 1:7-8
主は恵み深く、苦しみの日には砦（とりで）となり、主に身を寄せる者を御心に留められる。

16日（日） ヨハネ 2:1-12
イエスは最初のしるしをガリラヤのカナで行って、その栄光を現された。それで、弟子たちはイエスを信じた。

17日（月） 詩編 142
主よ、あなたはわたしの避けどころ。命あるものの地で、わたしの分となってください方。

18日（火） エフェソ 1:15-23
神は、キリストをすべてのものの上にある頭（かしら）として教会にお与えになりました。教会はキリストの体であり、すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場です。

19日（水） ルカ 10:1-9
イエスは言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださいるように、収穫の主に願いなさい。」

20日（木） ルカ 8:40-56
会堂長の家から人が来て言った。「お嬢さんは亡くなされました。」イエスは、これを聞いて会堂長に言われた。「恐れることはない。ただ信じなさい。そうすれば、娘は救われる。」

21日（金） 使徒言行録 26:1-23
パウロはアグリッパ王に言った。「わたしは小さい者にも大きな者にも、こう証しをしてきました。預言者たちやモーセが必ず起こると語ったこと以外には、何一つ述べていません。すなわち、キリストが苦しみを受け、また、死者の中から最初に復活して、すべての人に光を語り告げることになる。」

22日（土） 詩編 68:1-20
主をたたえよ、日々わたしたちを担い、救われる神を。

23日（日） ルカ 4:14-21
イエスは預言者イザヤの巻物にこう書いてある箇所を見つけられた。「主の霊がわたしの上におられる。主がわたしを遣わされたのは、貧しい人に福音を告げ、目の見えない人に視力の回復を告げ、圧迫されている人を自由にするためである。」

24日（月） 詩編 69:30-37
神を求める人々には、健やかな命が与えられますように。主は乏しい人々に耳を傾けてくださいます。

25日（火） ヘブライ 1:1-14
神は、かつて預言者たちによって、多くのしかたで先祖に語られたが、この時代には、御子によってわたしたちに語られました。

26日（水） ホセア 11:1-9
神は言われる。「まだ幼かったわたしの民をわたしは愛した。わたしは人間の綱、愛のきずなで彼らを導いた。」

27日（木） 出エジプト 20:1-21
シナイ山で神はこう言われた。「わたしは主、あなたの神。あなたを奴隷の家から導き出した神。あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない。」

28日（金） 1ペトロ 3:8-12
ペトロは記す。「悪をもって悪に、侮辱をもって侮辱に報いてはなりません。平和を願って、これを追い求めなさい。」

29日（土） ダニエル書補遺 64-67
清く心の謙虚な人々よ、主を賛美し、代々にたたえ、あがめよ。主の慈しみは代々に変わることはない。

30日（日） ルカ 4:21-30
ナザレで、人々はイエスを町の外へ追い出し、町が建っている山の崖まで連れて行き、突き落とそうとした。しかし、イエスは人々の間を通り抜けて立ち去られた。

31日（月） ヨハネ 1:1-18
ヨハネは記す。「その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。」